

1) 「5(5つ)のりんごを1つづつもらえる組み合わせはどれどれ?」のようにチェク・リストにある数値をラップに言ってやり、ふたつの画面を押しさせる。
 出来たらピンポンと、間違ったらブーと反応。
 3) 慣れたらスピードを速めるとエキサイティングする。
 a) 人の集合とりんごの集合との計算を紹介したラップ。
 b) 個々の数で、教詞(教唱) → 具体物がスムーズにつながることか課題意図。
 c) 「1人に1つずつ」は掛け算的なニュアンスを含む1対1対応の表現で、高度な数概念の土壌になる。

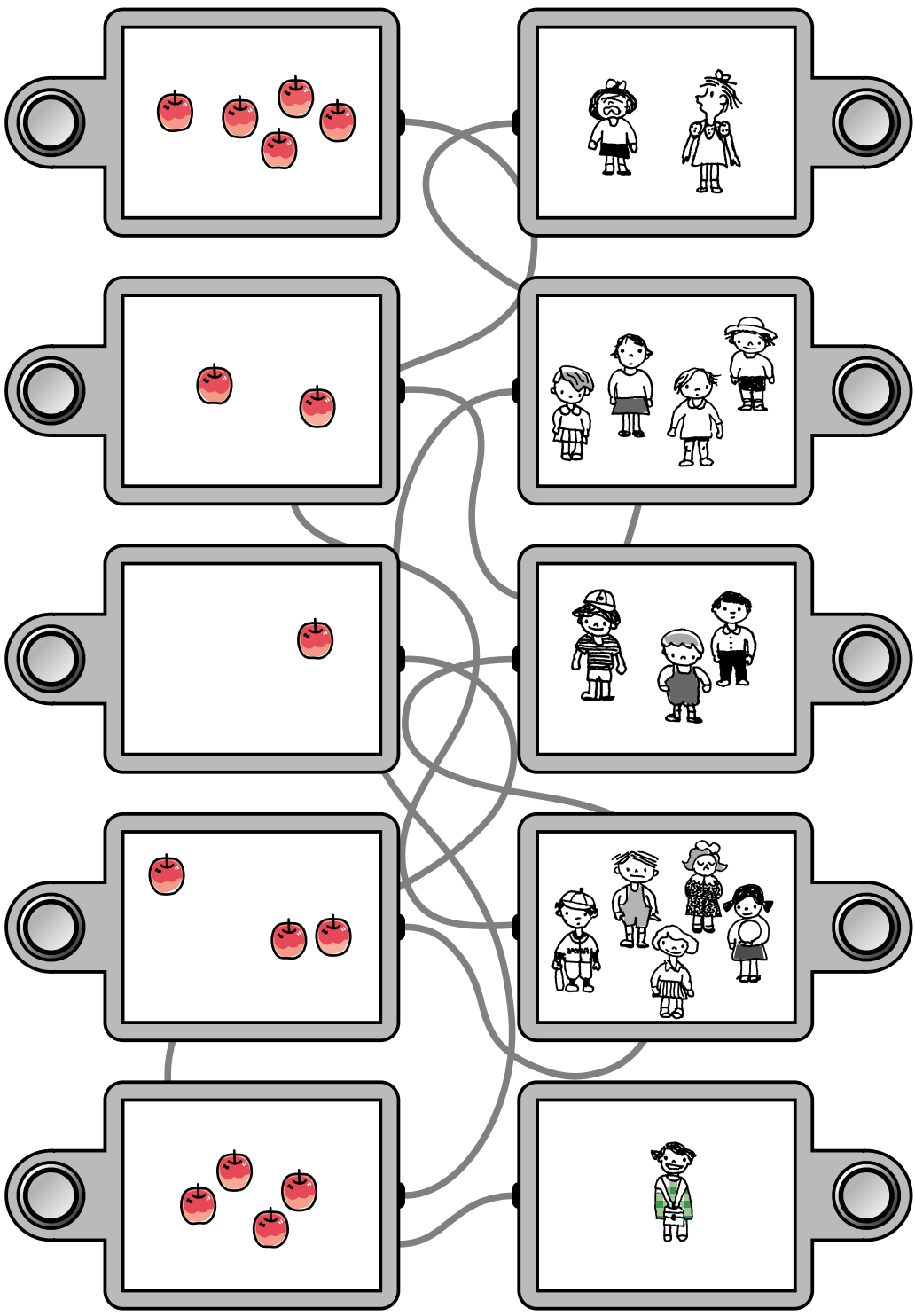
Date:

特定用具: 不要

りょうで
 はやおし!



2つの ボタンがあえば
 ピンポンが なるよ。



- いち
- に
- さん
- さん(し)
- こ

- ひつ
- ふたつ
- みっつ
- よっつ
- いつつ